

第 1 調査の概要

第1章 調査の目的等

1 調査の目的

身体障害者、知的障害者、精神障害者及び難病患者の生活実態を把握することにより、東京都における障害者施策の充実のための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の対象

18歳以上の身体障害者4,000人、知的障害者1,200人、精神障害者800人及び難病患者1,200人

3 標本の抽出

調査対象者の抽出は、東京都が保有する身体障害者手帳交付台帳、愛の手帳発行台帳、精神障害者保健福祉手帳発行台帳及び東京都難病医療費助成制度（現在の助成対象は79疾患）の認定者情報から調査に必要な客体数が確保できる規模の抽出率を乗じ、無作為系統抽出した。

(1) 身体障害者：抽出率0.9%で4,000人

身体障害者は、障害種別を8層に分けて系統抽出

(2) 知的障害者：抽出率2.1%で1,200人

(3) 精神障害者：抽出率1.1%で800人

(4) 難病患者：抽出率1.5%で1,200人

難病患者は、3層に分けて系統抽出

※系統抽出について

統計単位に一連番号を振り、その番号で一定間隔ごとに抽出する方法である。

4 調査の基準日

平成25年10月16日

5 調査の事項

(1) 基本的属性

(2) 障害、難病の状況

(3) 健康・医療

(4) 日常生活の状況

(5) 就労の状況

(6) 経済基盤

(7) 社会参加等

(8) 情報の入手やコミュニケーションの手段

- (9) 障害者総合支援法による障害福祉サービス等
- (10) 施設入所（施設入所者対象）
- (11) その他の福祉サービス等
- (12) 災害関係

6 調査の方法

(1) 事前調査

東京都から調査対象者に対し、郵送で所在地の確認、調査協力の可否及び点字調査票・音声コード付調査票・拡大文字調査票の希望並びに手話通訳・要約筆記等派遣の希望について調査を行った。

(2) 本調査

調査員が調査対象者の世帯を訪問し、調査の趣旨を説明の上、調査員による聞き取り調査を行う面接他計式により実施した。本人回答を原則とするが、不可能な場合は、家族等が代理回答するものとした。

7 調査の機構

(1) 福祉保健局長

管下の職員を指揮監督し、調査の企画、実施及び結果の公表を行う。

(2) 調査員

福祉保健局統計調査員設置要綱に基づき、知事が任命する。

8 根拠規定

- (1) 統計調査条例（昭和 32 年 4 月 1 日東京都条例 15 号）
- (2) 統計都統計調査条例施行規則（平成 2 年 12 月 21 日東京都規則第 213 号）
- (3) 統計都統計調査条例に基づく都指定統計調査の指定等に関する規則（平成 3 年東京都規則第 25 号）
- (4) 東京都福祉保健基礎調査要綱（平成 20 年 4 月 1 日）

9 集計の対象

平成 25 年 5 月に、各手帳の台帳から無作為に抽出した対象者 15,400 人に対し、郵送により所在確認、調査協力の可否についての調査（事前調査）を実施した。その内訳は次のとおりである。

事前調査結果の状況

	事前調査 対象者数(A)	調査不能者数				本調査対象 数(B)
		転出	拒否	その他		
身体障害者	7,500人	3,500人	1,178人	1,748人	574人	4,000人
知的障害者	2,750人	1,550人	419人	817人	314人	1,200人
精神障害者	2,150人	1,350人	65人	815人	470人	800人
難病患者	3,000人	1,800人	15人	888人	897人	1,200人
合計	15,400人	8,200人	1,677人	4,268人	2,255人	7,200人

調査の協力を承諾する旨の回答等を得た 7,200 人に対し、調査（本調査）を実施したが、調査票を回収することができたのは、5,040 人であった。回収状況の内訳は次のとおりである。

本調査回収状況

	本調査 対象者数(B)	回答者数 (C)	調査不能者数				回答率 (C/B)	
			転出	不在	拒否	その他		
身体障害者	4,000人	2,659人	1,341人	150人	260人	626人	305人	66.5%
知的障害者	1,200人	810人	390人	44人	61人	228人	57人	67.5%
精神障害者	800人	537人	263人	31人	60人	160人	12人	67.1%
難病患者	1,200人	1,034人	166人	8人	28人	90人	40人	86.2%
合計	7,200人	5,040人	2,160人	233人	409人	1,104人	414人	70.0%

最終回収率

	当初対象者数 (A)	回答者数 (C)	回答者数 (C/A)
身体障害者	7,500人	2,659人	35.5%
知的障害者	2,750人	810人	29.5%
精神障害者	2,150人	537人	25.0%
難病患者	3,000人	1,034人	34.5%
合計	15,400人	5,040人	32.7%

10 報告書の構成

「第1章 調査対象者の概要」「第7章 自由意見」では、集計対象者 5,040 人についてまとめた。「第2章 身体障害者の状況」では、集計対象者のうち身体障害者手帳を所持している（他の障害者手帳所持者も含む。）2,659 人について、「第3章 知的障害者の状況」では、集計対象者のうち愛の手帳を所持している（他の障害者手帳所持者も含む。）810 人の状況について記述した。「第4章 精神障害者の状況」では、集計対象者のうち精神障害者保健福祉手帳を所持している（他の障害者手帳所持者も含む。）537 人の状況について、「第5章 難病患者の状況」では、集計対象者のうち東京都難病医療費助成制度（現在の助成対象は79 疾患）の認定者 1,034 人について記述した。「第8章 都外施設等入所・入居者に対する調査について」では、都外施設等入所・入居者のうち郵送調査に協力いただいた 19 人についてまとめた。

11 利用上の注意

- (1) 統計表及びグラフにおける統計数値は、原則として構成比を記載し、構成比の基礎となる総数のみ、実数を併記した。その他、用いた記号は次のとおりである。
「0.0」… 四捨五入により数値を丸めた結果、表示すべき最下位の桁の1に達していない場合の単位未満の数値
「-」… 皆無又は該当数値なし
「…」… 該当数値が不詳、又は不明なもの
- (2) 比率の単位は「%」、実数の単位は「人」である。
- (3) 百分率は、少数点以下第2位を四捨五入した。このため、総数欄が100.0となっても、内訳の合計が100%とならない場合がある。
- (4) この報告書では、障害の種類や年齢など、様々な属性により集計・分析をしているが、集計区分によっては母数が少ないため、活用にあたっては注意が必要である。
- (5) クロス集計表の表側で母数の少ないデータは一部省略したものもある。
- (6) 本文の表中の数値に付けた下線は記述に関連することを示す。
- (7) 「20年度調査」または「前回調査」とは、「平成20年度 東京都福祉保健基礎調査（障害者の生活実態）」をいう。
- (8) この調査は、調査員が訪問し、調査対象者に趣旨を説明の上、聞き取り調査を行う面接他計式によって実施し、質問問の回答に矛盾が出ないように努めた。
また、原因の明確なものは審査及び集計作業の段階で極力排除した。ただし、障害者手帳等の提示を求めるなどはしておらず、回答していただいたものを尊重した。
- (9) 「身体障害者の総数」については、障害種別ごとに異なる抽出率によって合計された割合となっているため、抽出率を一律に補正するためのウェイトバック集計（回収されたサンプル数を実際の母集団の構成に合わせて集計する方法）により、いくつかの結果について比較を試みた。その結果、補正する前と補正した後（ウェイトバック集計により）の割合に大きな誤差はみられなかったため、「身体障害者の総数」については、障害種別ごとに異なる抽出率によって合計された数値及び割合の結果とした。
- (10) 身体障害者の障害種別における内部障害の表記は、調査票では「心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能の障害、免疫機能障害」としており、「肝臓の機能の障害」は記載されていなかったが、調査対象には含まれているため、本報告書の本文では、「心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能の障害、免疫機能障害、肝臓」と修正して掲載する。

(参考) 抽出率

・東京都が保有する身体障害者手帳交付台帳、愛の手帳発行台帳、精神障害者保健福祉手帳発行台帳及び東京都難病医療費助成制度（現在の助成対象は79疾患）の認定者情報から抽出している。

	母集団の数 (N)	標本数 本調査抽出数 (n)	推定標本 誤差(d)	抽出率 (n/N)
身体障害者総数	447,222	4,000	1.5%	0.009
視覚障害	37,097	560	4.1%	0.015
聴覚・平衡機能	40,427	560	4.1%	0.014
音声・言語・そしゃく機能	6,713	360	5.0%	0.054
肢体不自由	238,704	1,520	2.5%	0.006
上肢	71,650	390	4.9%	0.005
下肢	92,232	400	4.9%	0.004
体幹	71,728	390	4.9%	0.005
脳原性運動機能障害	3,094	340	5.0%	0.110
内部障害	124,281	1,000	3.1%	0.008
知的障害者	58,386	1,200	2.8%	0.021
精神障害者	73,506	800	3.4%	0.011
難病患者等総数	78,987	1,200	2.8%	0.015
神経系	25,272	400	4.9%	0.016
膠原系	19,501	400	4.8%	0.021
その他	34,214	400	4.9%	0.012
合計	658,101	7,200	-	0.011

・資料は、月報(福祉・衛生行政統計)「平成25年2月」における18歳以上の数(但し、精神障害者及び難病患者等は18歳未満も含む)

・肢体不自由者の内訳は月報からは分からないため、前回調査時の肢体不自由者の内訳の割合を用いた。

・推定標本誤差率の求め方 (a信頼度95%、p母比率50%)

$$d=1.96 \times \sqrt{(N-n) \div (N-1) \times (0.25 \div n)}$$

・標本誤差とは、例えば音声・言語・そしゃく機能障害者の標本数 (n)360人に聞いたある項目(例えば賛否)の調査結果の賛成率が50%:反対率が50%だったとする。このときに音声・言語・そしゃく機能障害者の母集団6,713人に対する標本数360人の調査結果の標本誤差は±5%なので、音声・言語・そしゃく機能障害者の調査結果は賛成も反対も50%の±5%、つまり45%~55%の間にあるとみなす。

12 調査項目

本調査は、本報告書の巻末に掲載した4種類の調査票(調査票1「身体障害者用」、調査票2「知的障害者用」、調査票3「精神障害者用」、調査票4「難病患者用」)により実施した。各調査票における設問及び調査項目は次のとおりである。

※ 以下の設問中で「あなた」とは、「調査対象者(障害者、難病患者)本人」のことである。

※ [複]とあるのは複数回答となっているものである。

大項目	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病患者	設問要約	設問
	はじめに	はじめに	はじめに	はじめに	回答者	回答者はどなたですか。
基本的属性	問1	問1	問1	問1	性別	あなたの性別はどちらですか。
	問2	問2	問2	問2	年齢	あなたの年齢は何歳ですか。(平成25年10月16日現在)
	問3	問3	問3	問3	現在の生活の場	あなたの現在の生活の場はどこですか。
	問4	問4	問4	問4	住まいの種類 (在宅者対象)	あなたのお住まいの種類は次のどれですか。
	問4-1	問4-1	問4-1	問4-1	一緒に暮らしている人 [複]	あなたは現在、だれと一緒に生活していますか。
	問4-2	問4-2	問4-2	問4-2	主な介護者	あなたの現在の主な介護者は誰ですか。
	問4-3	問4-3	問4-3	問4-3	主な介護者の年齢	主な介護者の年齢は何歳ですか。(平成25年10月16日現在)
				問4-4	介護者の状況についての不安	介護者の状況について、不安に感じていることはありますか。
	問5	問5		問5	入所施設の種類の程度	現在入所している施設はどれですか。
障害の状況	問6				身体障害者手帳の障害名および、程度 [複]	あなたの身体障害者手帳に記載されている障害名は何ですか。当てはまるものすべてに○を付け、手帳に記載された障害の程度をお答えください。
		問6			愛の手帳の程度	あなたがお持ちの愛の手帳は何度ですか。手帳に記載された障害の程度は何度ですか。
	問6-1				身体障害者手帳の障害の程度(総合等級)	あなたの身体障害者手帳に記載された障害の程度(総合等級)を次の中から1つ選んで○をしてください。
	問7				障害者になった時期	あなたが障害者になったのはいつですか。当てはまるもの1つに○をつけ、2番を選んだ場合は、年齢を()内に記入してください。複数の障害がある方は、最初に障害者になった時期についてお答えください。
		問7			愛の手帳以外に所持する手帳の種類 [複]	あなたは愛の手帳以外の手帳をお持ちですか。
		問7-1			身体障害者手帳の障害の等級	身体障害者手帳の程度は何級ですか。当てはまるもの1つに○をしてください。
	問8				主な障害の原因	主な障害についてお聞きます。その障害の原因は何ですか。当てはまるもの1つに○をしてください。
	問9				障害の疾病名 [複]	あなたの障害の疾病名は何ですか。
	問10				身体障害者手帳以外に所持する手帳の種類 [複]	あなたは身体障害者手帳以外の手帳をお持ちですか。
	問10-1				愛の手帳の程度	愛の手帳の程度は何度ですか。
			問5		精神障害者保健福祉手帳の等級	あなたの精神障害者保健福祉手帳に記載された障害の程度は何級ですか。
			問6		初診時の年齢	あなたが病院、診療所等の医療機関で、精神疾患にかかわる病気(てんかんを含む)の診断を受けたときの初診時の年齢はいくつですか。
			問7		診断名 [複]	もし、よろしければあなたの診断名について、当てはまるものすべてに○をしてください。
		問8		精神障害者保健福祉手帳以外の手帳の所持 [複]	あなたは精神障害者保健福祉手帳以外の手帳をお持ちですか。	

大項目	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病患者	設問要約	設問	
難病の状況				問6	疾病名	疾病名は何ですか。現在罹患している難病名を「別紙「東京都難病医療費等助成制度の対象疾患一覧」の中から選んで疾病番号をご記入いただくか、疾病名をご記入ください。	
				問7	難病の診断を受けたのはいつか	問6でお答えになった主な難病の診断を受けたのはいつですか。当てはまるもの1つに○をつけ、2を選んだ場合は、年齢を()に記入してください。	
				問8	合併症の有無	合併症はありますか。	
				問9	障害者手帳取得の有無	障害者手帳等を取得していますか。当てはまるものすべてに○をして、必要な数値にも○をしてください。	
健康・医療	問11	問8			過去1年間の受診の有無	あなたは過去1年間に受診（往診を含む）したことがありますか。（障害に起因する場合に限らず、すべての病気・ケガ等を含む）	
				問10	通院又は入院しているか	あなたは、平成25年10月16日（調査基準日）現在、難病にかかわる病気で通院又は入院していますか。	
			問9		通院状況（調査基準日現在）	あなたは、平成25年10月16日（調査基準日）現在、精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）で通院（往診を含む）していますか。	
		問8-1	問9-1		通院に要する時間	あなたが通院に要する片道の時間はどれくらいですか。	
		問8-2	問9-2	問10-1	通院に要する交通手段〔複〕	あなたが通院の際に利用する交通手段は何ですか。	
		問8-3	問9-3	問10-2	通院に要する交通費	あなたが通院の際に要する交通費はどれくらいですか。	
				問10-3	通院している医療機関	通院している医療機関はどれですか。	
			問10		入院経験の有無	あなたは、精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）で、病院、診療所等の医療機関への入院経験がありますか。	
			問10-1		これまでの精神疾患にかかわる入院回数	これまで、精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）で何回入院したことがありますか。	
				問11	難病にかかわる病気での入院経験	あなたは、難病にかかわる病気で、病院、診療所等の医療機関への入院経験がありますか。	
			問10-2	問11-1	入院期間	平成25年10月16日（調査基準日）現在、入院期間はどれくらいですか。	
			問11		過去1年間の精神疾患以外の受診の有無	あなたは過去1年間に精神疾患（てんかんを含む）以外の病気やケガなどで医者にかかったことはありますか。	
				問12	使用している医療機器	あなたが使用している医療機器について、当てはまるものすべてに○をしてください。	
				問13	訪問診療の利用状況	「訪問診療」の利用状況について、当てはまるものすべてに○をしてください。	
				問13-1	訪問看護の利用状況	「訪問看護」の利用状況について、当てはまるものすべてに○をしてください。	
		問12	問9	問12	問14	過去1年間の医療費助成等の利用の有無〔複〕	あなたは過去1年間に医療費助成等を利用しましたか。
			問12-1			医療費助成の自己負担額（自立支援医療（精神通院医療）を利用した方）	1か月の自立支援医療（精神通院医療）の自己負担額は、平均でどれくらいですか。

大項目	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病患者	設問要約	設問
日常生活の状況	問13	問10	問13	問15	日常生活動作能力	あなたは次の動作について、自分ひとりですみますか。 a から j までの項目について、当てはまるものをそれぞれ1つ選んで下さい。（できる、できないの判断について、現に補装具等を使用している方は、使用した状態で判断してください。）
	a	a		a		食事をとる
	b	b		b		家事（調理、洗濯、掃除）をする
			a			食事のしたくや後片付け
			b			掃除、洗濯（干してたたむまでを含む）
	c	c		c		トイレを使う
	d	d		d		着替えをする
	e	e		e		入浴をする
	f	f		f		寝返りをする
	g	g		g		家の中を移動する
	h	h		h		外出する
	i	i	c	i		日常の買い物
			d			身だしなみ
			e			お金の管理
	j	j	f			薬の管理（決まった時間に飲むなど）
			g			銀行、郵便局等の利用
		h			バス、電車等の利用	
		問14		過去1年間で困ったこと〔複〕	あなたは、過去1年間で何か困ったことはありますか。	
			問16	体の状態の変化	あなたは、難病や薬の副作用により、過去1年の間に体の状態に変化がありましたか。	
就労の状況	問14	問11	問15	問17	収入を伴う仕事の有無（調査基準日現在）	あなたは平成25年10月16日（調査基準日）現在、収入を伴う仕事をしていますか。
	問14-1	問11-1	問15-1	問17-1	仕事の種類〔複〕	仕事の種類は何ですか。
	問14-2	問11-2	問15-2	問17-2	1週間の就労日数	1週間の就労日数は、どのくらいですか。
	問14-3	問11-3	問15-3	問17-3	1週間の労働時間	1週間の労働時間は、どのくらいですか。
	問14-4		問15-4	問17-4	現在の就職先に就職した時期	現在の就職先に就職したのは障害者になる（難病の診断を受ける）前ですか、それともなった後ですか。
	問14-5	問11-4	問15-5	問17-5	現在の仕事先を紹介された経路〔複〕	どこ（だれ）の支援を受けて現在の仕事に就きましたか。
	問14-6	問11-5	問15-6	問17-6	現在の仕事に就いてからの期間	現在の仕事に就いてからの期間はどれくらいですか。
	問14-7	問11-6	問15-7	問17-7	仕事をしていく上で困ること〔複〕	仕事をしていく上で困ることは何ですか。
	問14-8	問11-7	問15-8	問17-8	仕事で困ったときの相談相手〔複〕	仕事で困ったことがあったとき、誰に相談しますか。
	問14-9	問11-8	問15-9	問17-9	福祉的就労経験の有無	これまでに、福祉的就労を利用したことがありますか。
	問14-10	問11-9	問15-10	問17-10	仕事をしていない理由〔複〕	現在、仕事をしていない理由、又は福祉的就労をしている理由は何ですか。
	問14-11	問11-10	問15-11	問17-11	過去の一般就労経験の有無	あなたは、過去、会社等で働いたこと（パート、アルバイト等を含む。）がありますか。当てはまるもの1つに○をしてください。
	問14-12	問11-11	問15-12	問17-12	今後の一般就労意向	今後、会社等で働きたい（パート、アルバイト等を含む。）と思いますか。
	問14-13	問11-12	問15-13	問17-13	一般就労をする上での課題	会社等で働くにあたって、心配なこと（課題）は何ですか。次の中から最も大きい理由を1つ選んで○をしてください。

大項目	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病患者	設問要約	設問
経済基盤	問15	問12	問16	問18	収入の種類〔複〕	平成24年中のあなたご自身の収入の種類についてお聞きします。主なもの1つとその他該当するものがあれば2つまで□欄に番号を記入してください。
	問15-1	問12-1		問18-1	年金・恩給、手当等の収入額	平成24年中における年金・恩給、手当のそれぞれの収入額はいくらですか。
	問16	問13	問17	問19	年間収入（生活保護費を除く）	あなたの平成24年中の収入額はいくらですか。収入には、ご自身で働いて得た収入や就労継続支援事業所などからの収入のほか、あなたの年金・手当による収入や家族からの仕送りや小遣いを含みますが、生活保護費は除きます。
社会参加等	問17	問14	問18	問20	平日の日中主に過ごす場所	この1年間にあなたは、平日の日中主にどこで過ごしましたか。
	問17-1	問14-1	問18-1	問20-1	現在利用している施設の満足度〔複〕	あなたは現在利用している施設に満足していますか。
	問18	問15	問19	問21	過去1年間に行った活動等〔複〕	この1年間にあなたは、趣味や学習、スポーツ、社会活動などの活動をしましたか。
	問19	問16	問20	問22	社会参加する上で妨げになっていること〔複〕	あなたが社会参加をする上で、妨げになっていることはありますか。
	問20	問17	問21	問23	障害・難病のためにあきらめたり、妥協したこと〔複〕	あなたは、障害があるため（難病のため）にあきらめたり、妥協せざるを得なかったことがありますか。
情報の入手やコミュニケーションの手段	問21				情報の入手方法（視覚障害）〔複〕	あなたは、「学校・施設・職場」「家庭」「地域社会」のそれぞれの場所において、どのようにして情報を得たり、コミュニケーションをとったりしていますか。それぞれの場所においてあてはまるものすべてに○をしてください。
	問21-1				情報を入手する上で困ること（視覚障害）〔複〕	あなたは、情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがありますか。
	問22				情報の入手方法（聴覚障害）〔複〕	あなたは、「学校・施設・職場」「家庭」「地域社会」のそれぞれの場所において、どのようにして情報を得たり、コミュニケーションをとったりしていますか。それぞれの場所においてあてはまるものすべてに○をしてください。
	問22-1				情報を入手する上で困ること（聴覚障害）〔複〕	あなたは、情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがありますか。
		問18	問22	問24	情報の入手方法〔複〕	あなたは、「学校・施設・職場」「家庭」「地域社会」のそれぞれの場所において、どのようにして情報を得たり、コミュニケーションをとったりしていますか。それぞれの場所においてあてはまるものすべてに○をしてください。
		問19	問23		情報を入手する上で困ること〔複〕	あなたは、情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがありますか。
	問23			問25	意思を伝える場合に困ること〔複〕	あなたは、障害があるため（難病のため）、意思を伝える場合に困ることがありますか。

大項目	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病患者	設問要約	設問
情報の入手やコミュニケーションの手段	問24			問25-1	日常生活用具給付等事業で利用している日常生活用具〔複〕	あなたは、情報入手したり、コミュニケーションを円滑にするため（意思を伝えるため）に、日常生活用具給付等事業で利用している日常生活用具（等）はありますか。
障害者総合支援法による障害福祉サービス等	問25	問20	問24	問26	障害者総合支援法による障害福祉サービスの利用の有無とサービス内容（在宅で生活している方）〔複〕	過去1年間に障害者総合支援法（平成25年3月までは障害者自立支援法。以下同じ。）による障害福祉サービスについて、どのような内容のサービスを利用しましたか。
	問25-1	問20-1	問24-1	問26-1	居宅介護等サービスの種類〔複〕	あなたが利用した居宅介護等のサービスの種類は何ですか。
	問25-2	問20-2	問24-2	問26-2	サービスの支給量（居宅介護等サービス利用者）	あなたが利用したサービスについて、支給量は十分だと思いますか。
				問26-3	障害福祉サービスの利用予定の有無	今後、あなたは障害者総合支援法による障害福祉サービス利用の予定はありますか。
	問26	問21	問25	問27	障害程度区分	あなたの障害程度区分はいくつですか。
	問27	問22	問26	問28	障害者総合支援法における障害福祉サービスの費用負担（サービス利用者）	あなたの障害者総合支援法における障害福祉サービスの費用負担についてお聞きします。1か月にあなたが負担した額（食費等実費負担は除く）はいくらですか。平成25年9月の負担額について、当てはまるもの1つに○をしてください。
		問23	問27		日常生活自立支援事業の利用（予定）の有無	あなたは日常生活自立支援事業を利用するつもり（予定）がありますか。
		問24	問28		成年後見制度の利用（予定）の有無	あなたは、成年後見制度を利用するつもり（予定）がありますか。
	問28	問25	問29	問29	介護保険制度利用の有無（調査基準日現在、40歳以上の方）	あなたは、介護保険制度を利用していますか。
	問28-1	問25-1	問29-1	問29-1	要介護度（介護保険制度利用者）	あなたの要介護度は何度ですか。
	問28-2	問25-2	問29-2	問29-2	介護保健法におけるサービスの費用負担（介護保険制度利用者）	あなたの介護保険法におけるサービスの費用負担についてお聞きします。1か月にあなたが負担する額（食費等実費分は除く）はいくらですか。
	問28-3	問25-3	問29-3	問29-3	介護保険でどのような在宅サービスを受けているか（介護保険制度利用者）〔複〕	あなたはどのような内容の在宅サービスを受けていますか。
	問28-4	問25-4	問29-4	問29-4	介護保険のホームヘルプサービスの内容（ホームヘルプサービス利用者）	あなたが受けているサービスの内容は何ですか。
	問28-5	問25-5	問29-5	問29-5	サービス内容で困っていること（ホームヘルプサービス利用者）〔複〕	サービス内容で困っていることはありますか。

大項目	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病患者	設問要約	設問
施設入所 (施設入 所者対 象)	問29	問26		問30	入所を決めた人	入所を決めた人は誰ですか。
	問29-1	問26-1		問30-1	入所を決めた理由 〔複〕	あなたが施設入所を決めた理由は何ですか。
	問30	問27		問31	入所年数	あなたは、今の施設に入ってからどれくらい(何年)になりますか。
		問28			入所施設数	あなたが今までに入った施設は、何か所ですか。(今の施設数も入れて数えてください。)
	問31	問29		問32	施設の満足度〔複〕	あなたは、今の施設での生活に満足していますか。
その他の 福祉サー ビス等			問30		精神障害者保健福祉 手帳を取得して良 かったとこと	精神障害者保健福祉手帳を取得して良かったと思うことはありますか。
	問32	問30	問31	問33	将来暮らしたいとこ ろ	あなたは、将来どこで暮らしたいと思えますか。
	問33	問31		問34	地域で生活する上 で、必要な福祉サー ビス〔複〕	あなたが、地域生活をしたり、しようとする上で、必要な福祉サービス等は何ですか。
			問32		今後利用したい福祉 サービス〔複〕	あなたが今後利用したい福祉サービスは何ですか。
災害関係	問34	問32	問33	問35	震災時に不安を感じ ること〔複〕	あなたが、震災時に、不安を感じることは、何ですか。
	問35	問33	問34	問36	震災に備えた特別な 対策〔複〕	あなたは、震災に備えて、難病や障害特性に応じた特別な対策をとっていますか。
自由意見					《自由に意見を記 述》	○家族のこと ○生きがいのこと(したいこと、ほしいもの、行きたいところなど) ○生活の中での納得のいかない経験等 ○震災時、事故発生時など緊急時に困ったこと、不安に思うこと ○東京都・区市町村に望むこと ○その他

(注意) 異なる種類の調査票において、ほぼ同一の設問分で問われている調査項目については、本表では便宜上まとめて上げてある。ただし、選択肢の数などその内容は調査票の種類ごとに多少異なっている。

第2章 調査実施までの経過

東京都福祉保健局では、今回の実施に当たっては、平成25年1月から各障害者団体と協議を重ね、また、平成25年3月、福祉保健局内に学識経験者、各障害者団体代表者及び都関係各部代表者からなる検討委員会を設置し、調査内容、調査方法等について議論を重ねるとともに、三障害者及び難病患者を対象とした調査についての検討を行い、平成25年10月16日から平成25年11月15日までを期間とし、身体障害者、知的障害者、精神障害者及び難病患者を対象とした調査を実施した。

調査実施までの経過は以下のとおりである。

平成25年1月	東京都障害者団体連絡協議会にて調査の実施について説明
平成25年5月	事前調査実施
平成25年6月	平成25年度東京都福祉保健基礎調査 第1回検討会開催 (委員は別表のとおり)
平成25年7月	平成25年度東京都福祉保健基礎調査 第2回検討会開催 東京都障害者団体連絡協議会にて調査の内容等について説明
平成25年10月16日～ 平成25年11月15日	調査実施(平成25年10月16日調査基準日)
平成25年11月	都外施設入所者調査実施
平成26年3月	平成25年度東京都福祉保健基礎調査 第3回検討会開催
平成26年7月	平成25年度東京都福祉保健基礎調査 第4回検討会開催

平成 25 年度 東京都福祉保健基礎調査検討委員会委員

氏 名	役 職 等	備 考
○学識経験者		
松矢 勝宏	東京学芸大学名誉教授	
小澤 温	筑波大学大学院人間総合科学研究科教授	
中山 優季	(公財) 東京都医学総合研究所 難病ケア看護研究室主席研究員	
○障害者団体		
高橋 勝幸	(社) 東京都肢体不自由者父母の会連合会会長	
小林 良廣	障害者と家族の生活と権利を守る都民連絡会会長	
上原 明子	(社福) 東京都知的障害者育成会理事長	
宮澤 勇	(社) 東京都身体障害者団体連合会会長	(平成25年6月まで)
小西 慶一	(社) 東京都身体障害者団体連合会会長	(平成25年7月から)
越智 大輔	(公社) 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟事務局長	
渡辺 哲宏	(公社) 東京都盲人福祉協会副会長	(平成26年6月まで)
川村 和利	(公社) 東京都盲人福祉協会副会長	(平成26年7月から)
山下 和子	(特非) わくわくかん	東京都精神保健福祉民間団体協議会
坂本 秀夫	(特非) 東京都難病団体連絡協議会理事長	
○障害者本人		
酒井 治雄	(社福) 東京都知的障害者育成会本人部会代表	
宮澤 秀一	トライ・ザ・ブルースカイ代表	
○行政関係者		
東京都福祉保健局保健政策部疾病対策課長		
東京都福祉保健局障害者施策推進部計画課長		
東京都福祉保健局障害者施策推進部自立生活支援課長		
東京都福祉保健局障害者施策推進部居住支援課長		
東京都福祉保健局障害者施策推進部精神保健・医療課長		
○事務局		
東京都福祉保健局総務部情報化推進担当課長		

※敬称略